

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	栗山米菓ばかうけファクトリー新築工事 北区 <small>西名目所土地区画整理事業施行地区10街区</small> 工業地域、指定なし 工場, 2014年12月 竣工 31,628.78 m <sup>2</sup> 7,344.16 m <sup>2</sup> 16,757.62 m <sup>2</sup> 地上4F S造 実施設計段階評価 2014年5月14日	
---	--	--

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{42.1}{38.9} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	-
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	4.0
			リサイクル材の使用	4.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.0		まちなみ・景観への配慮	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- ・維持管理は標準的な配慮を行う。構造部材を痛めることなく修繕できる。
- ・基準法を満たす耐震性を有する。通信手段の多様化を図り、電源設備の地下空間への設置を回避している。
- ・建物高さ、壁面位置等において周囲への圧迫感の軽減を行っている。緑地により良好な景観に配慮している。

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

## 評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	栗山米菓ばかうけファクトリー新築工事	階数	地上4F
建設地	新潟県新潟市北区	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 竣工	評価の実施日	2014年5月14日
敷地面積	31,629 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社レーモンド設計事務所
建築面積	7,344 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	16,758 m <sup>2</sup>	確認者	

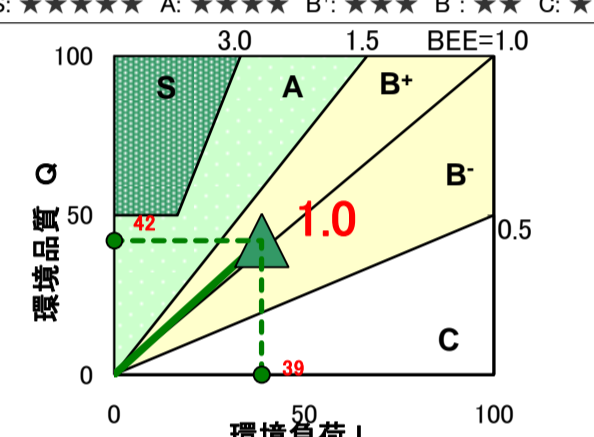


図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

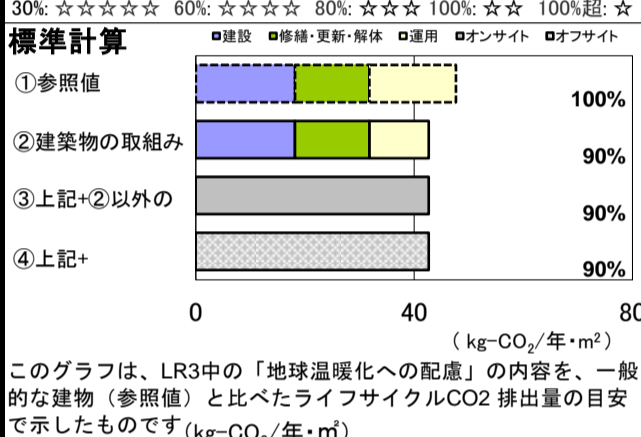
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★



### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

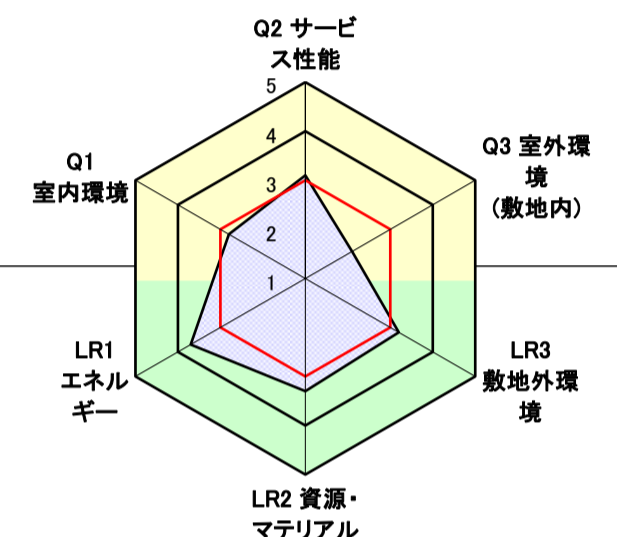
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

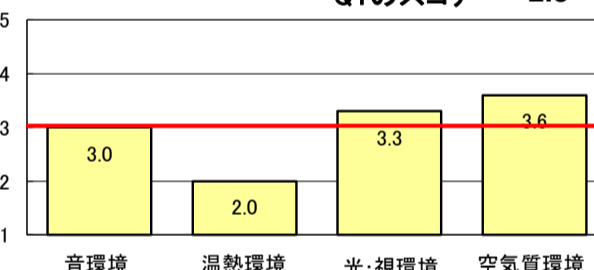


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

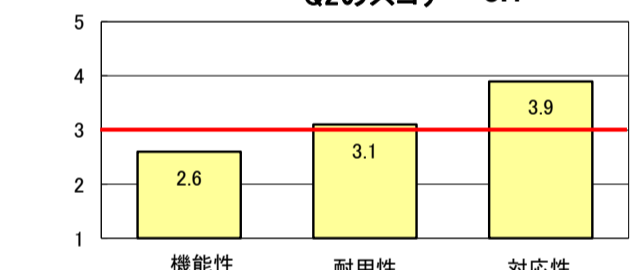
#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8




#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1



#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

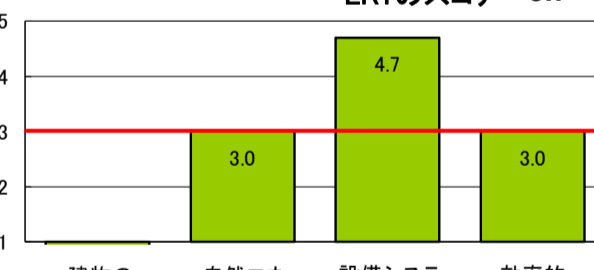


### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

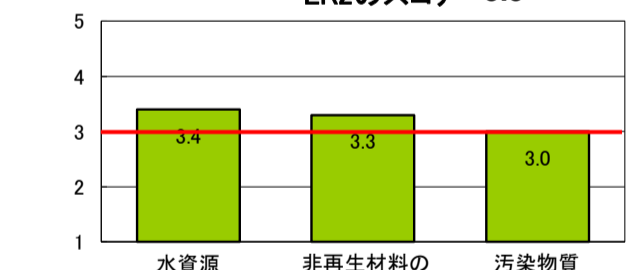
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7



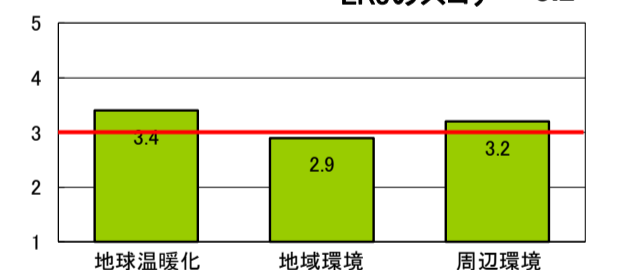
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物の長寿命化と省エネルギー対策、地球温暖化防止に配慮している。		<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> ・昼光率に配慮 ・化学汚染物質を使用しない ・取り入れ外気への配慮	<b>Q2 サービス性能</b> ・部品・部材の耐用年数に配慮 ・リフレッシュスペースの確保 ・電気・通信設備の多様化と浸水対策	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・緑化面積の確保 ・まちなみとの調和 ・防犯性の配慮
<b>LR1 エネルギー</b> ・高効率照明器具の採用	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水器具の採用 ・非構造材料におけるリサイクル材の使用 ・部材の再利用可能性向上への取組み	<b>LR3 敷地外環境</b> ・地球温暖化防止への配慮 ・交通負荷抑制に配慮 ・光害の抑制への配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される